

### 3. ウイルス検定

#### 1) イネ縞葉枯病ウイルス

##### (1) 目的

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒の実態を明らかにし、今後の防除対策に資する。

##### (2) 採集及び検定方法

###### ア 供試虫の採集

越冬世代：1999年（平成11年）3月 1～16日

第1世代：1999年（平成11年）5月13～25日

###### イ 検定方法

ラテックス凝集反応法により、越冬世代は3月16～17日、第1世代は6月2～3日に検定を行った。

##### (3) 結果の概要

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒率は、越冬世代が1.6%、第1世代が0.6%でいずれも平年より低かった（表1、2）。

表1 越冬世代の保毒率

採集場所	検定虫数(頭)	保毒虫数(頭)	保毒率(%)
長与町齊藤	100	0	0
多良見町船津	168	7	4.2
琴海町戸根	149	7	4.7
外海町神の浦	48	0	0
諫早市小船越町	93	0	0
諫早市小野島	150	4	2.7
大村市今村	150	2	1.3
東彼杵町三根	150	3	2
吾妻町干拓	125	0	0
国見町神代	200	1	0.5
南有馬町北岡	150	2	1.3
松浦市志佐	103	0	0
平戸市中野	28	0	0
合計(平均)	1614	26	1.6

※参考 過去の越冬世代の保毒率の推移

調査年度	平年	10年	9年	8年	7年	6年
保毒率(%)	3.4	1.0	7.7	0.3	0.3	1.3

注) 平年値は平成2～10年の平均

表2 第1世代の保毒率

採集場所	検定虫数(頭)	保毒虫数(頭)	保毒率(%)
多良見町船津	100	0	0
琴海町戸根	5	0	0
外海町神の浦	3	0	0
大瀬戸町雪の浦	5	0	0
諫早市小船越	100	1	1
諫早市小野島	73	0	0
大村市福重	100	1	1
東彼杵町千綿	174	1	0.6
国見町神代	99	0	0
佐世保市長畑	100	0	0
佐世保市江上	100	2	2
松浦市志佐	50	0	0
福江市本山	76	1	1.3
合計(平均)	985	6	0.6

※参考 過去の第1世代の保毒率の推移

調査年度	平年	10年	9年	8年	7年	6年
保毒率(%)	2.0	1.4	1.5	0.6	1.5	0.9

注) 平年値は平成2～10年の平均

2) イネ萎縮病ウイルス

(1) 目的

長崎県内におけるツマグロヨコバイのイネ萎縮病ウイルス保毒の実態を明らかにし、今後の本病の防除に資する。

(2) 採集及び検定方法

ア 供試虫の採集

第1世代：1999年（平成11年）5月13～25日

イ 検定方法

ラテックス凝集反応法により、6月7日に検定を行った。

(3) 結果の概要

ツマグロヨコバイの第1世代のイネ萎縮病ウイルス保毒率は0%であった（表）。

表 第1世代の保毒率

採集場所	検定虫数(頭)	保毒虫数(頭)	保毒率(%)
琴海町戸根	75	0	0
外海町神の浦	48	0	0
大瀬戸町雪の浦	36	0	0
諫早市小船越	19	0	0
諫早市小野島	100	0	0
大村市福重	100	0	0
東彼杵町千綿	100	0	0
国見町神代	100	0	0
佐世保市長畑	11	0	0
佐世保市江上	1	0	0
松浦市志佐	49	0	0
平戸市中野	5	0	0
合計(平均)	644	0	0

※参考 過去の第1世代の保毒率の推移

調査年度	平年	10年	9年	8年	7年	6年
保毒率(%)	1.3	0	1.2	0.5	0.7	0.4

注) 平年値は平成2～10年の平均